

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
 (他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
 関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム四ツ葉

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)
氏名 窪田 美杉

評価完了日 平成 19 年 5 月 15 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 入居者様のその人らしい生活を支援するための理念として掲げている。 日々その理念を振り返るよう勤めているが、地域密着の定義が職員に理解されていない。		地域密着の定義を理解できるように話し合い、入居者様のその人らしい暮らしの継続が家庭的な環境と地域交流にどう結びついているかを学んでいく。
			(外部評価) 利用者一人ひとりの安全、安心、安らぎのある暮らしを支えるための理念が作られている。		地域密着型サービス事業所として運営者及び管理者は、今後さらに「健康・愛情・幸福・希望」の理念に沿って、地域との良好な関係性を築いていきたいと考えておられた。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 職員採用時には必ず理念について、又、認知症の理解を促している。 管理者と職員は共に理念を共有し実践に取り組んでいる。		ミーティングでは常に理念の振り返りの内容で話し合いができています。 講師を招き勉強会にも行った。 日々の支援の中で起こったことは理念を振り返り解決に向けて話し合っている。職員がそのつど理念に基づいているか判断できるように指導していく。
			(外部評価) 理念がスタッフルームに掲示されていた。事業所の理念に基づき職員の今年の目標を掲げ、意識の統一を図っておられる。管理者は、ミーティングや朝礼時、又、日々のケアの場面においても理念について話しをされている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) ご家族には入居時に理念についてお話をさせて頂いている。また、日々の生活の中でも伝えている。 地域の方については説明する機会が少ないが、運営推進会議の参加の方にはお話している。		来客の方の目に付く所に理念を掲げている。 今後、交流の場での啓発をしていただきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 天気の良い日には毎日散歩に出かけ、近所の方と挨拶を交わしたり、お話をすることもある。管理者も職員も同じ立場で関わりあっている。バーベキュー会などの行事の時には声をかけ、来ていただいた。		散歩の途中でお花を頂くこともある。近所の方が畑の野菜を見に来たり、話をしたりすることもあり、収穫時期にはおすそ分けをすることもある。近所の飲食店に出向いて外食をする事もある。散歩の途中で買い物をする事もよくある。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の行事には、案内を頂き出向いて行ったり、来て頂くこともある。 (外部評価) 散歩時には近所の方と挨拶を交わす等されている。お花を頂いたり、近隣のスーパーでの買い物の際には便宜を図ってもらうこともある。地域の民生委員の方の協力を得て、老人会のサロンに月2、3回参加されており、来月に開催される音楽会を利用者は、楽しみにしておられた。		盆踊りに参加したり、お祭りには、みこしや水軍鼓台に来て頂いた。保育園の運動会やお散歩会、クリスマス会に招いていただき参加できた。地元の老人会に継続的に参加している方もいる。ホームでのバーベキュー大会に地域の方に参加して頂いた。 来月開催の地区の運動会に参加することを予定しておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 老人会に参加されている方の関わりによって、地域の方が励みになっているという声が聞けた。		管理者のキャラバンメイトの研修を活かし今後は、認知症のサポーター要請の学習会を開いたり相談の窓口となれるよう勤めていきたい。
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 昨年の外部評価内容を再度確認のため運営者、管理者、職員が毎月のミーティングで項目分けをして話し合いの時間をとり改善に向けて意見を出し合った。 (外部評価) 全職員が作成した自己評価を管理者がまとめられた。前回の評価結果を受けて改善の話し合いを重ね、年間を通して改善に取り組まれた。		昨年の改善点は一つ一つ見直し、すぐできることはすぐ実行し、意識付けるのはそのつど声かけするように努めた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議では、利用者様の日々の様子やホームでの取り組み今後の目標等の報告や話し合いをし、意見を頂くようにしている。		ご家族や地域の方から意見を出していただけるように薦めていきたい。また、その内容を職員全員で把握し、改善に努めたい。
			(外部評価)		
			これまでに2度、運営推進会議を開催し、その際に事業所から入居状況等、事業所の様子の報告を行い、地域交流や福祉行政等についての意見交換や質疑応答が行われた。		今後、運営推進会議の回数を重ねていかれる中で、いろいろな方にご意見をいただく等、さらなる事業所のサービスの質の向上につなげていかれることが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			運営者により、市長村担当者の方へ相談して意見指導を受けている。		職員が市町村との関係を理解できるように話し合いをしていく。
			(外部評価)		
			運営者は、利用する方の生活保護等の申請や援助等を行っている。又、ボランティアの受け入れを積極的にすすめておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			運営者、管理者、職員共にミーティング時に勉強会をし、理解を深めた。 入居契約時には必ず説明をしている。		実際に活用することがないため、定期的に勉強会に組み込んでいきたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			運営者、管理者、職員共にミーティング時に勉強会をし、理解を深め、虐待防止に努めている。		具体的虐待事例について話し合った。また、言葉によった虐待についても話し合った。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には時間がかかっても、すみずみまで丁寧に説明し、起こりうるリスク等の説明をし、同意を頂いている。		契約時には必ず2名の職員が参加して、説明時にもれのないよう努めている。 入居されてからも分からない事などを聞きやすいよう声かけしている。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 生活の中での特機事や、行事の予定は入居者様の集まる食事の後や、お茶時間に皆様の意見を聞きながら計画を立てるようにしている。 日々のケアの中で入居者様が自分らしく意見・思いが言えるように支援するよう努めている。		ご家族等面談後には、本人が職員に言いにくい思いがないか聞くようにしている。 意見、不満等があるときは話し合い改善に努め周知している。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎月担当者による、生活の様子のメッセージと写真、金銭出納表を3ヶ月に1度はホーム便りを作り運営推進会議に参加されない方にも送付し、報告や予定を伝えるようにしている。心身の状態や生活の様子を面会時に説明し、必要時には電話連絡している。		
			(外部評価) 毎月、利用者個々の暮らしぶり等に写真を添えてご家族に報告されている。「四ツ葉便り」には行事予定表を載せて、行事の際の利用者の表情等も伝わるよう工夫されている。職員の顔写真と名前をご家族にも分かりやすいよう、壁に掲示されていた。		さらに、今後、掲示されている職員の写真に一人ひとりのコメントも合わせて掲示するよう計画されていた。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 契約時には苦情等、その場で伝えていただくようお願いしている。各ユニット入り口に意見箱を設置している。 普段からのコミュニケーションを大切に信頼関係を築き何でも言って頂けるよう努めている。 面会後には意見を聞くようにしている。		苦情があった時には、早急に対応し、職員との話し合いをし、改善に向けている。又、同じことのないよう周知に努めている。 今以上に何でも言って頂ける信頼関係を築いていく。
			(外部評価) ご家族から、地区の運動会へのお誘いがあり、調査訪問時、ポスターが掲示されてあった。事業所主催のバーベキュー大会には多くのご家族が参加された。ご家族と関わるような機会に意見や希望をつかがう等、ご家族の声を大切に、関係性を深めておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月のミーティングで意見を出し合い決定するようにしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) その時の状況に応じ、対応できるよう勤務調整や応援の職員を配置できるようにしている。管理者職員共に同じ立場で支援できるような勤務体制をとっている。夜勤だけの職員は配置しない方針。		入居者様個々の入浴や外出の希望を受け入れることは難しいが、可能な範囲で努力し、ご家族の協力を得ていく。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) できる限り職員が定着し、入居者様との馴染みの信頼関係が持てるよう働きやすい職場であるよう努力している。新人職員の指導機関が取れるようになってきた。 (外部評価) 運営者は、職員一人ひとりの自主性を尊重し、管理者は、職員の悩み等に耳を傾けておられる。又、職員の親睦会などを開催し、チームワークを築くことができるよう努めておられる。		入居者様のダメージは最小限にできるよう配慮する。
5.人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員に研修の案内を回覧し、出席を勧めている。参加費用、交通費等を支給するようにしている。自主的に希望を出す職員も増えてきた。研修参加後にはミーティングにて報告、資料回覧している。 (外部評価) 内部、外部研修ともに積極的に取り組まれており、職員は、入浴を嫌がる利用者への対応のこと等、研修で得たことを日々のケアに活かしておられる。		G・H連絡協議会の年間を通じた研修に定期的に参加ができた。 毎月のミーティングで現場の事例による認知症勉強会を取り入れている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 講師を招いた勉強会に他のGHに呼んで頂いたり、来て頂いたりした。ぶどう狩りを合同で行ったり、他のGHを外出時に訪問した事もある。 研修会等でネットワークを広げ情報を得ている。 (外部評価) 他事業所とともに勉強会を行ったり、訪問したりされている。		交流の回数は少ないので、今後は計画を立てて勤めていきたい。一部の職員に限らずすべての職員に研修会等の参加を呼びかけ、ネットワークを広げ、質の向上に活かせるように意識づけていきたい。他施設研修を希望する声もあるため議会在が持てるよう勤めていく。 運営者は、職員が他の事業所とかかわりを持つような機会をさらに増やし、サービスの質の向上につなげていきたいと考えておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 忘年会、お花見などの親睦会を開いている。誕生日には誕生会を入居者様と同様に行いプレゼントも頂いている。 職員同士又上司とも意見が言いやすい環境であるよう勤めているが、全職員のストレス軽減にはいたっていない。		余裕のある現場の体制が取れるようにしていく。 上司にも話しやすい環境づくりに努める。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者は毎日現場に来て朝の朝礼を行い把握に努めている。 職員の資格取得に向けた支援を行っている。 現場で起こったトラブルを第三者より聞いて指導することがある。		トラブルがあった時には、現場状況を把握した上で当人の気持ちを理解し、指導していく。又、管理者に促して対応する。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談から利用に至るまでに、ご本人、ご家族のお話を聞き入居されてすぐに対応できるようにしている。ご本人の心身の状況など受け止める努力をしている。		ご本人が都合により来所できない場合には運営者が向いてご本人に話を聞いている。現場の職員との面談が出来るようにしていき、いっそう細かい情報の収集に努める。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		<p>初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居前の相談時にはゆっくりご家族の思いを聞きご本人の状況や、ご家族の希望を伝えて頂けるように努めている。</p>		
25		<p>初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>相談時にはご本人や、ご家族の実情や要望を聞き可能な限り柔軟な対応を行っている。</p>		
26	12	<p>馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>出来る限り入居前にご本人に来て頂き納得の上で入居されてはいるが、段階を踏んで徐々に馴染んでいくことは出来ていない。 事前に情報を得て、今までの生活や性格を知り、入居されてすぐに馴染みやすいような対応ができるように努めている。</p>		<p>入居前に段階を踏んで徐々に馴染んで頂けるように努力していく。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>入居予定者に事業所の行事に参加していただいたり、利用者の方とお話するような機会を作る等、馴染みの関係を築きながら入居できるよう配慮されている。入居数日間は、ご家族に頻繁に来訪していただく等、協力を得ている。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>					
27	13	<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>理念に基づき入居者様の気持ちを理解し、共に過ごし学び支え合える関係作りに努めている。 人生の先輩として、日々教えて頂く事が多く、職員はそういう場作りに配慮している。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者から昔の習わしや生活の知恵、ワラビのあく抜きや切り方、花の命名の由来等、教えていただく機会が多いようである。また、利用者同士の気遣いや声かけ、互いに支え合っている姿等、学ぶ機会も多くある。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 職員は、ご家族と一緒にご本人を支えるために、喜怒哀楽を共にし情報の共有に努めている。疎遠になっているご家族には心身の状況をお話し来所を促している。遠方でこれない方には常に電話連絡をしている。		疎遠になっているご家族には、ご本人の気持ちを理解して頂けるように伝えていく。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご本人とご家族のよりよい関係作りが出来る環境作りに勤めている。クリスマス会、焼肉会にはご家族にも参加して頂き一緒に楽しんで頂いた。疎遠になっているご家族には電話にて状況報告をし来所を呼びかけている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 公民館活動に継続して参加されている方がおられる。昔からの友人やご近所の方の面会がある。		中にはお付き合いがあまりなかった方もおられるため他の方法で地域との交流を深めていく。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 入居者様同士のトラブルは日々起こっているが、孤立しないように職員が配慮し、情報の共有が出来るようにしている。 お茶、食事の時間には、職員も一緒に雰囲気作りに努めている。また皆さんで協力して出来ることを強制にならないように考え勤めている。		日々トラブルは起こっても、職員がその雰囲気を知り入居者様の心のダメージを最小限にとどめられるように配慮していく。職員の中には経験不足でうまく受けとめれず自身をなくしていることもあるため、失敗を活かせるよう指導していく。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退去後、ご家族から相談を受けることもある。転居先、入院先に面会に行くこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりの中で、ご本人の思いや希望が言い易いような環境を作るように努めている。出来ること出来ないことを検討をして、ご家族に協力を得るようにしている。		職員全員が意識できるように指導していく。
			(外部評価) 「私ができること、できないことシート」「私ができること、わからないことシート」を作成されている。また、入居前までのことについてのアセスメントの充実に取り組まれた。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居前に、ご本人ご家族から細かく情報を得るようにつとめている。入居前に生活面のアセスメント用紙をご家族に渡し、自宅でゆっくり充実した内容を記入して頂くようにしている。入居後に分かったことについては職員に周知している。		職員がその方のことをもっと知ろうという気持ちが深まるように指導していく。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一人ひとりの生活のリズムを把握し、出来ること出来ないことを知り、何で笑顔を引き出せるか等考え対応している。また、認知症の勉強会ではその方の不自由は何かを学びあっている。		職員の目配り気配り心配りを育て自ら意見が出せるように指導していく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ご本人ご家族に希望を聞き、ケアプランに取り入れている。日々の生活の中で重要なことは職員同士が意見を出し合うようにしケアプランに活かしている。必要なことはミーティングで話し合いをしている。		新人職員のケアプランについての指導が充実できていないため時間を作り指導していく。
			(外部評価) ご本人やご家族、職員の意見を介護計画に採り入れて作成されている。		
					さらに、利用者のより豊かな生活を支えるために、医療関係者、面会に来られる友人知人等、ご本人に関わる方達の意見やアイデア等を反映した介護計画を作成するような取り組みもすすめてみてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) ご本人ご家族の状況に応じて見直しを行っている。ご本人の心身の変化や状況の変化が起こった時、継続的な対応が必要か否か話し合いをし計画を変更したり追加したりしている		職員全員が考えて意見を出せるように質の向上を図る。
			(外部評価) 介護計画は、3ヶ月ごとに見直しされている。計画の概要を個別の介護記録に添付し、日々確認できるようになっており、現状に即したケアを行えるよう取り組まれている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子がよく分かり計画の評価が日々行えるような記録が出来るように努めているが、日課的な記録になっていることもあり、ミーティングや申し送りでの都度話し合ったり、注意し合っている 計画の評価がしやすいような工夫を始めたところである。又、職員が情報の共有が出来るように取り組んでいる		記録の仕方を職員が統一できるようになるために職員一人ひとりが意識するように勤める。 情報の共有と気づきが活かせるよう意識付けする
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 医療連携を活かし、かかりつけ医の受診往診を受けたり、入院が必要になった場合は医師により医療機関の紹介を受けることができ、退院後の生活の継続の指導も受けることが出来る		職員がGHの機能の理解が出来るよう学ぶ
			(外部評価) 職員は、利用者の通院や公民館活動のサロンへ参加する際の送迎や同行をされている。ご本人の身内の葬儀の際に利用者へ同行されたこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議では、民生委員の方に来て頂き幣施設の特色等知って頂いている。 ボランティア受け入れ登録をして学生さん等来て頂いている。 消防の調査を受けたり指導を受けたりしているが、協働という密接な関係までには至っていない		地域のいろいろな他機関への呼びかけをしていき、今後協力体制が取れるような啓発をしていく。 地域のボランティア活動団体の把握をし、学生さん以外の方への協力も促していく。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ご本人、ご家族の希望に応じ、訪問利用を受けて頂いている。 ご本人、ご家族の希望で、自立支援事業のマッサージを受けている方もいる		その他の地域の特色やサービスを把握し、ご本人、ご家族の希望する他のサービスが利用できるように勧めていく。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要時には地域包括支援センターの協力を受けることができる。 運営推進会議に参加頂きそこでの指導を受けることができる。		今年から運営推進会議を開き包括支援センターの方との交流をもち、今後充実したケア内容となるように努力する。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居契約時にかかりつけ医の受診、往診等、医療連携について説明し納得頂くようにしている。又、希望により他病院を受診されている方もおられるが、必要時には医師同士の情報の提供がなされている。かかりつけ医とは24時間何時でも連絡が取れ、指導も受けることができる。他病院への紹介もして頂いている。 (外部評価) 協力医やかかりつけ医、看護師と連携を図り、24時間いつでも相談することが可能な体制が作られている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 必要な時にはご家族と相談の上、専門医を受診して頂くようにしている。 開設当初より心療内科の医師に指導や助言を受けている必要時にはご家族同行して頂き受診されている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 何でも相談できる看護師が法人内に配置され、入居者の把握をして頂き、指導を受けている。毎月のミーティングで日常の健康観察の仕方等勉強会をしている		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時にはご家族の同意を得て、サマリーや個別マニュアル等の情報提供を行い少しでも安心して過ごせるように支援している。入院中には病院を訪問し、情報を得たり、ご本人やご家族が安心して頂けるように支援している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居契約時に、重度化に向けた話し合いをしている。常時医療行為が必要になった場合には、医師の判断により、ご家族と相談して対応できる施設や医療機関を紹介して頂くこともある。		定期的にご家族との話し合いをしていく。
			(外部評価) 入居時には、重度化したときのことについてご家族等と話し合われている。		運営者は、終末期に向けた事業所の体制作り等について、積極的に取組みたいと考えられていた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化や終末期の方が現在おられないが、GHで出来る事出来ない事を見極め変化に備えての検討や準備はかかりつけ医との連携により行っている。		GHで、出来る事出来ない事の把握をし、今後ありうる重度化、終末期ケアについての勉強会をする。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 住み替えの時には、今までの暮らしが安心して継続できるように生活環境、支援内容、注意点などの情報提供をしている。又、分からない事について、何でも聞いて頂くように伝えている。医師からも情報提供をして頂いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個人情報保護法の理解に努め、秘密保護の徹底がなされている。 勉強会やミーティングで入居者様の尊厳について話し合いをしている。声かけや対応で気づいた事はその都度話し合うようにしている。</p>		<p>勉強会を重ねて、意識の向上を図る。 職員同士が、言い合える環境を保つ。 自分の立場に置き換え、常に気持ちに配慮し言葉を選んで対応する。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>居室入室時には、利用者に丁寧に声かけされていた。 ホーム便り等の写真掲載については、ご家族の許可を得て行われている。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりのレベルに合わせて選択していただいたり、自己決定できる場面を作れるように努めている。 共同生活の場であるため、他の方に合わせて頂かなくてはならない時には、説明し、納得して頂けるように努めている。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>一日の生活ペースは、ある程度決まっているが、その中でも一人ひとりのペースに合わせて柔軟に対応できるように努めている。常に1対1の対応ができないことはご本人、ご家族に説明している。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>調査訪問時、食後の一時をのんびりとベランダでたばこをくゆらせて、過ごされている利用者がおられた。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 外出されて散髪される方、訪問理容を利用される方がおられパーマをかけたり、毛染めされたり、希望により行っている。着替えはその方に合わせご本人と一緒に選んだり、自由に選ばれたりしている。自分で出来ない方への身だしなみの配慮がまだ行き届いていないときがある。		髪の毛や衣服の乱れに職員が気づけるように意識付けをしていく。自立されているが、いつも同じ服を着て職員の声かけに耳を傾けない方への対応を検討している。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ある程度のメニューは決めているが、内容はその時その時、入居者様の希望や畑の野菜などの都合で変更している。食事の準備や、片付けなど入居者様それぞれの出来る事を一緒にして頂いている。山菜のあく抜きや料理の仕方等、入居者様に教えて頂く事が多い。 (外部評価) 調査訪問時、利用者が丹精されたレタスが食卓に上り、相撲やダービーの話等もされながら、職員とともに食事を楽しんでいた。又、利用者は、下膳、テーブルや食器ふき等も率先して行っておられた。		職員によって、入居者様への気遣った采配が出来ない時があるため、細かいことへの統一が出来よう、職員の質の向上に努めていく。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) タバコを吸われる方には、職員が預かり必要時お出しするようにして、他の方の迷惑にならないように配慮している。お酒の制限をされている方にも、行事ごとにはお出しし楽しんで頂けるように配慮している。毎晩寝る前に晩酌されている方もおられる。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表を使用し、排尿の回数や排便の有無などの確認をしている。声かけが必要な方には、周囲への配慮をして声かけや対応をしている。一人ひとりの排泄パターンを知りトイレで排泄できるように努めている。ご本人の状態によって無理強いとなっている場合もある。		ご本人の気持ちに配慮し、対応していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しんで頂いている。毎日入られる方や、お二人で仲良く入られる方もおられる。冬には血行をよくするために足浴を促したりしている。 (外部評価) 入浴を拒む方に対しては、声かけを工夫されている。入浴しながらテレビを楽しまれる方もおられる。		入浴を拒否される方の気持ちに配慮した声かけの工夫などを検討し取り組んでいる。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中の活動を促し、夜間の安眠ができるように支援している。必要な方には、ご本人、ご家族に相談して医師による薬の調整を受けている。寝る前に焼酎を飲んで休まれる方もいる。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) その方の生き生き出来る事、喜ばれることを見つけて一緒にして頂き職員がその中で学ばせて頂いている。散歩のコースを決めて頂いたり、食べたいものを聞いて外出に出かけたり、行きたい所を聞きドライブに出掛けている。 (外部評価) 畑の手入れや草花の水やり、洗濯や料理、手芸等の楽しみごとを事業所でも続けられるよう支援されている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 通帳や大金の管理はされていないが、いつでも希望により必要な支援をしている。入居時にご本人、ご家族と相談しいつでも使えるようなお小遣いを持って頂いて、外出時や散歩の時に使えるように支援しているが使うことへの希望が少ない。		入居者様が自分で力を発揮できる場面を増やしていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			<p>天気の良い日は毎日散歩に出かけている。車椅子や歩行不安定な方にも安全に出かけて頂けるように努めている。一人ひとりの希望をその都度叶えることは難しい。</p>		一人ひとりの希望が叶えられるように、ご家族の理解を得て協力して頂くよう勧めていく。
			(外部評価)		
			<p>毎日のように散歩をされており、調査訪問時にも帽子をかぶって出かけておられた。友人と一緒に散歩される方もおられる。5月には動物園とさつき展に出かけられた。</p>		今後、誕生日のプレゼントを利用者と一緒に買いに行くよう予定されていた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			<p>外出、外食の希望を聞き皆さんと一緒に掛けている。日々の生活の中で行きたいところを伺い、楽しみを持って頂くように努めている。</p>		一人ひとりの希望を出して頂けるように努め、ご家族の協力が得られるように支援していく。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			<p>ご希望に応じて、何時でも電話できるように支援している。お手紙の返事を書いて頂くように促している。</p>		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			<p>一度来て頂いた方には、何時でも来て頂けるように声かけしている。知人、友人の面会が少しずつ増えてきている。外出時には、ご家族や度々来られる方にお知らせして迷惑をかけないように努めている。</p>		ご本人やご家族に馴染みの方や会いたい方をお聞きして来て頂けるように支援していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ミーティングや勉強会で話し合っって身体拘束をしないケアを行っている。言葉による拘束についても日々のケアの中で話し合っている。		定期的に勉強会を行い、新人職員へも認識を深めていく。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) ミーティングや勉強会で話し合っている。非常階段（すぐ開けることが出来る）以外は鍵はかけていない。職員が連携をとって、声を掛け合い見守り、さりげない対応に努めている。		職員が気配り、目配りできるように、今以上質の向上に向け努力する。
			(外部評価) 玄関にはチャイムが設置されており、日中は施錠されておらず、自由に出入りできるようになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 昼夜を通して、プライバシーに配慮しながら様子の観察や、居場所の把握に努め安全に配慮している。ヒアリングがあった時にはご家族にも伝え、対応を話し合っている。		職員の質の向上を図っていく。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状態の把握に努め危険のないように取り組んでいる。危険を察知できるように、気配り、見守り、声かけするよう、努めている。		職員の質の向上を図っていく。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ミーティング、勉強会でリスクマネジメントをしている。一人ひとりの状態に応じた対応を日々話し合いリスクの把握に努めている。ヒアリングや申し送りにより職員に周知できるようにもしている。又、ユニット間でも活かせるようにしている。		定期的にはリスクマネジメントをし、職員の質の向上をしていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) ミーティング、勉強会で定期的に話し合っているが、経験の少ない職員にとっては不安がある。緊急時の対応についてマニュアルを作成したり、実際に対応の仕方を職員間で行っている。		勉強会での積み重ねをして、自信がもてるように質の向上に努めていく。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の方の設備点検は受けているが、実際の避難訓練は要請しているがまだ実行できていない。訓練についてイメージ的な話し合いや、マニュアルは作成している。		実際の避難訓練が出来るように勤める。勉強会でイメージトレーニングをしていく。
			(外部評価) 災害時マニュアルを作成されている。避難訓練の実施は今後の取り組みとなっていた。		運営推進会議では災害対策について話し合われており、今後、運営者は、地域の自主防災組織の立ち上げをすすめていきたいと考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 入居契約時に自由な生活とリスクについて説明し理解して頂くようにしているが、一度に理解を得られないこともあるためその都度説明している。日々の生活の中でリスクが発生したとき等、面会時や電話で伝えるようにしている。ケアプランの中に組み入れるようにし理解して頂くようにしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 一人ひとりの状態の把握をし、その方についてどのような観察が必要なのかを話し合って周知している。毎日のバイタル測定をし、様子の変化や状態を見極め、必要時には看護師に来てもらったり、医師に指示を受けたり連携をとっている。		高齢者の心身の把握が出来るように、職員一人ひとりが学び質の向上に努めていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の変更時等は目的、副作用、観察の仕方を医師や薬剤師の指示を受け申し送り、記録に残し周知し、日々の観察をして記録している。服薬管理については徹底している。薬の用法、用量についての把握はしているが、すべての方の薬の目的、副作用についての把握はできていない。		入居者様一人ひとりの薬の内容の把握ができるように職員一人ひとりが意識し学んでいく。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 繊維質の多い野菜や、毎日乳製品を摂って頂くなどしている。毎日散歩や体操をして体を動かして頂くよう、又、水分をとって頂くように取り組みしている。便の確認が明確でない方には医師に腹診して頂いている。必要な方には医師の指示により、下剤の調節をしている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) ミーティング、勉強会で、口腔ケアの重要性について学んでいる。食後や寝る前の口腔ケアの声かけや一部介助をし、清潔を保てるように習慣付けている。		職員に關与させて頂けない方についての対応を工夫し、検討している。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一日のカロリーを栄養士により管理された食事メニューを週4日間、それに基づいた職員食事メニューを3日間で提供している。毎日食事量のチェックをし、必要時には医師に相談する等している。その方に応じて食べやすいように配慮したり、水分が取れるように工夫したり計画に入れて取り組んでいる。		
			(外部評価) 月2回、体重測定を行っておられる。糖尿病の方にはご飯の量等に配慮し、水分確保のためにお汁を薄めに調理して、おかわりをしてもらう等工夫されている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 起こりうる感染症について勉強会をし、全員でマニュアル作成に取り組み実施できている。日々の生活の中に手洗い、うがいが習慣付けられてきている。入居者様職員全員が、インフルエンザの予防接種を受けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ミーティングで話し合い、取り決めを作って実行している。毎日のまな板、布巾の消毒、その都度包丁の消毒、開封日を記載したり、日付を見て先出しする等</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>門を入るとすぐに畑があり、ご近所の方に声をかけて頂くこともある。庭には植木を植えたり、プランター、ベンチを置き四季を感じ休んで頂ける。玄関の扉はいつも開けており、明るく出入りしやすい。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>共用空間には、いつも花が生けられている。外出時の写真等掲示している。入居者様が散歩の途中にとって帰った草花を生けることもよくある。料理の音や臭いに関心を持って頂いたり、季節の旬の物を料理に使ったり工夫をこらしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間には、利用者の写真を掲示し、庭に咲く花をテーブルに飾り、水槽にはメダカが泳いでいた。利用者の方は、神棚に毎日手を合わせ、水を替えておられる。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リビングにはテレビ前にソファを置き、皆さんでテレビを見たり、ベランダのベンチに座りお話される方もいる。最近では入り口に椅子を置き、他の方と離れて過されたり、ご家族を待たれたり、二人でお話されたり思い思いに過ごせるように工夫している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居時には、ご自宅で使い慣れていた馴染みの物を持って来て頂くようお願いし、少しでも安心して生活して頂けるように努めている。机、椅子、棚、たんす、小物や大切な方の写真等持ち込んで頂いている。ご仏壇を置いている方もいる。 (外部評価) 居室には、ご本人手作りの手芸品や思い出の写真が飾られ、テレビや本箱等がしつらえてあった。耳の遠い方へは、テレビが見聞きしやすいようにベッドを配置する等、居心地よく過ごせるよう工夫されていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 温度計、湿度計を設置し、室内の温度、湿度の調節に配慮している。換気の時間を決めて実施している。冬には加湿器を置いたり、濡れタオルを干すなどの工夫をしている。暑さ、寒さは入居者様に聞き、調節している。朝の朝礼時に伝え合い意識付けしている。		職員全員が気配りできるように意識する。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下、トイレ、浴室等には手すりを取り付けたり、床はバリアフリーとなって安全に移動が出来るようにしている。洗濯物を干して頂く時には、届きやすいように高さ調節したり、食器拭きの時にはテーブルでして頂く等、安全への工夫をしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室の入り口にはそれぞれの暖簾を取り付け自分の居室が分かりやすいようにしている。必要な方には、居室入り口に名前を分かりやすいように明示したりトイレに張り紙をしたり工夫している。タンスも物が分かるように張り紙をしたり、眼鏡の置き場がすぐ分かるように眼鏡入れを作ったりしている。		一人ひとりの不自由を把握し、工夫できることを考えていく。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 庭に植木を植えたり、プランターやベンチを置いて休んだり日向ぼっこをされている。畑も広く確保し、入居者様と一緒に野菜を取りに行っている。暖かい日にはベランダでコーヒーを飲んだりすることもある。		

サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんど掴んでいない	思いが訴えられない方、入居間もない方への思いや願いについては、まだ充分ではない。入居者様と職員の信頼関係を築くように努力し、ほとんどの方には、思いや、願いを伝えて頂いている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食事の時間、水分補給、おやつの中には、職員も共にゆったり過ごしている。ケアの中でも入居者さまのペースに合わせるようゆっくり散歩したり、お話ししたり出来るように努めている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は一人ひとりのペースを把握し尊重するように努めているが、共同生活の上で他の方に合わせて頂かなくてはならない事もある。居室にこもりがちの方には、職員がお願いして活動に参加して頂く場合もある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ほとんどの方がその時、その時を生き生きとした表情やお姿で過ごされている。職員は、日々笑顔を引き出す努力をしている。入居間もない方や、個々の対応には、まだ不安もある。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日の散歩のコースは入居者様に決めて頂いたり、月に2、3回の外出やドライブに希望を聞いて出かけているが、一人ひとりの希望を全ては受け入れできない。欲しい物を買に行ったり、地域の老人会に行かれる方はいる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一週間に一度、医師の往診があり、その都度、指導を受けて対応している。24時間いつでも連絡が取れて、必要時には往診して頂いている。日々の生活の中での心配事などは、いつでも看護師に相談できるようになっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その時々状況や、要望に応じれるように勤めている。食事、入浴等、個々の希望を聞いて対応している。自分から訴えられない方への配慮がまだ充分ではない。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時には、コミュニケーションを図るよう勤め、何でも言って頂くようにしている。よく訪問して頂き、信頼関係が築けている方も居れば、疎遠になり、電話でお願いしてもなかなか訪問して頂けない方もいる。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	古い友人や、近所の方ご時々訪問される事がある。月に一度はワワセラピーのボランティアに来て頂いている。

項目		取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ②) 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	今年始めたばかりではあるが、多数の出席の方がおり、質問や意見も沢山にもらい、ホームの理解をして頂いたり、地域の活動や、その他の情報を提供して頂ける場となっている。今後の交流についての話し合いも行っている。
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ②) 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員同士は助け合い、コミュニケーションを取りながら笑顔で働いている。新人職員はまだ慣れていないため不安がある。職員一人ひとりが、目標を定め、それに向けて取り組んでいる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ②) 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	何でも言うて頂けるような環境作りに努め、入居者様の気持ちに配慮している。生活の中で笑顔がよく見られ、意欲的な場面も多くある。個々の希望については、受け入れできる事に限りがある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ②) 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時には必ず、ご本人の状態を伝え、意見や希望を聞くように努め、何でも言うて頂けるようコミュニケーションを取っている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

四ツ葉の理念 健康、愛情、幸福、希望を常に振り返り日々のケアに取り組んでいます。

健康・・職員は毎日のバイタル測定と状態の把握をして、入居者様の変化にいち早く気付けるように努めています。異常時には、24時間Drに指示を受けることができ、必要に応じて往診を受けることができます。毎日の体調、希望に応じた散歩、体操を行っています。

愛情・・入居者様とご家族の関係の継続して頂くように、働きかけています。入居者様と職員の信頼関係を築き、一緒に泣き笑いできる環境を作っています。入居者様同士の助け合いの場を持てるように支援しています。

幸福・・いつも笑顔で生活して頂けるように支援しています。職員は生活の中で入居者様の笑顔を引き出すように努めています。出来ることは継続していただき、自立の支援に努めています。

希望・・生活の中での希望を何でも言うて頂けるよう関係を深める努力をしています。出来ることを続け、それをやりがいにして頂けるように努めています。一ヶ月に2~3回の外出をして、外食やドライブを楽しんで頂いています。